

新春のひととき、町の発展を願う
新春を祝う会



1月5日、『新春を祝う会』が中央公民館で開催され、町や町内農商工業関係者など約130名が出席しました。
はじめに発起人を代表して町長職務代理者の森谷副町長があいさつ。心謡会の謡曲と中山玄蕃太鼓の演奏が祝宴に華を添え、出席者は新年のあいさつを交わしながら、町の発展とお互いの繁栄を誓い合っていました。

年頭のご挨拶

中山町長職務代理者 副町長 **森谷喜代弘**

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
また、日ごろから町政全般にわたりまして、多大なるご支援とご協力を賜りまして、この場をお借りして改めて深く感謝を申し上げます。
昨年12月に急逝されました故大津保信町長には、改めて哀悼の意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
大津町長のご薫陶を受けた私たちは、その遺志を受け継ぎ、中山町発展のために一層の精進をしていくことを、新年に当たり、あらためてお誓い申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、当町出身の横山雄哉投手がプロ野球阪神タイガースからドラフト1位指名され入団し、中山町から初のプロ野球選手が誕生するという明るい話題がありました。

また、中山町誕生60周年記念式典を開催し、町指定無形文化財である「達磨寺田植踊」「土橋獅子踊」「小塩御福田田植踊」の競演が実現し、多くの町民が観覧し、その素晴らしさを再認識したところです。
「元祖芋煮会in中山」では、当町の「芋棒煮」に加え「日本3大芋煮」を無料で振る舞い、大変な賑わいを見せ、芋煮会発祥の地を町内外に大いにPRすることができました。
防災の面でも大きな進展があり、宮城県松島町と「災害時相互応援協定」を結ぶことができました。これにより大規模災害が発生した際に相互応援を行う体制が整いました。
今後も松島町とは観光や物産をはじめ、様々な面で町民同士の交流を活発化し、お互いの町がさらに発展するよう願うところです。
また、昨年は6月に学校給食

共同調理場、7月に中山中学校と相次いで改築工事が着工しました。本年はこれらの工事が完了する予定ですので、学校教育環境が飛躍的に向上するものと期待しているところです。
一方、昨年は民間有識者が「消滅可能性都市」を公表し、少子化と東京一極集中に警鐘を鳴らしたことが地方自治体に衝撃を与えました。当町にとっても人口減少は大きな課題であり、国が進める地方創生などの対策を今後検討していく必要があります。
今年には新町長のもと、これらの課題解決のために職員一丸となって努力していく所存でございますので、どうか皆様にはぜひともお力添えを賜りますようお願いいたします。
結びに、新しい年が町民の皆様にとって素晴らしいものであると祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

故 大津保信町長を悼んで
大津家・中山町合同葬



弔辞を読み上げる吉村知事

12月3日に死去した故大津保信町長の天津家・中山町合同葬が12月7日に総合体育館で行われました。

はじめに葬儀委員長の森谷副町長が「私たちは町長の遺志を受け継ぎ、中山町発展のために一層努力します」と挨拶。その後、鈴木町議会議長、吉村県知事、山形広域環境事務組合管理者の市川山形市長、県町村会長の遠藤山辺町長らが弔辞を述べました。

葬儀の最後には参列者全員が焼香し、親族を代表し喪主の長男保敬さんが「これまでの思い出を胸に、父のようにまっすぐに生きていきます」と挨拶。約700人の参列者は大津町長のこれまでの功績をたたえとともに、安らかな冥福を祈りました。

金沢防災コミュニティセンター完成



金沢公民館北側の第5分団第2部ポンプ庫の改築工事が完了し、金沢防災コミュニティセンターとして新たに生まれ変わりました。

車庫部分は以前より広く、収納部分が設けられ、出動時の利便性が向上しました。また、2階部分は地区の消防・防災活動、予防活動の拠点となる詰め所として整備されました。

12月20日には地元への引き渡し式が行われ、金沢地区役員ほか地元消防団が参加。森谷副町長は「この施設を大いに活用し、さらなる消防・防災活動に尽力してください」と激励していました。